

## □電力の買い方で1700万円を節約

立川市では、2010年度に市営の競輪場の電力購入先を東京電力からPPS(特定規模電気事業者)のサミットエナジー社に切り替えました。PPSは企業努力しているため、全体的に価格が安めです。立川競輪場では、それまで年間6200万円だった電気代が4500万円になりました。

## □PPSとは何か

「特定規模電気事業者 (power producer and supplier PPS)」とは東京電力や関西電力などの10電力会社以外の電気の小売業者のことです。

1995年、世界的な規制緩和の流れを受けた電気事業法改正に伴う電力自由化により、電力会社に卸電力を供給する独立発電事業者 (Independent Power Producer IPP)の参入が可能になり、また大型ビル群など特定の地点を対象とした小売供給が特定電気事業者に認められました。

ビルや工場、公共施設など大口需要者を対象に2000年、電力の小売りが自由化され異業種からも電気事業へ参入しています。2011年現在その数は47社にもなっています。但し、送電の自

由化はまだのため、「託送料」を支払って10電力会社の送電線を使わなくてはなりません。

## □エネルギーも地産地消の方向へ

欧州では農業・産業・ITに次いで自然エネルギーは第4の革命と呼ばれるまでに新しい経済として期待されています。

# エネルギーと地域社会

## 福島第一原子力発電所の事故以来、PPS(特定規模電気事業者)を活用する自治体が増えています。

来、PPS(特定規模電気事業者)を活用する自治体が増えています。

もしも、年間何億円にも達するであろう電力料金を地域に落とすことができたらとてつもない経済効果が生まれます。

## □電力購入のあり方

PPSはイコール全てが自然エネルギーのことはありませんが、3月11日の東日本震災による福島第一原子力発電所の事故以来、これまで

の電力購入のあり方が大きくかわってきました。冒頭の立川市のような節約は実際に多くの自治体実践しています。

鶴ヶ島市においても全ての電力を10電力会社にのみ頼るのではなく、他のエネルギー活用を考える時期にあるのではないのでしょうか。

参考…2011年9月2日の東京新聞に掲載された全国市民オンブズマン連絡会議調査によれば「107自治体(47都道府県、19政令市、41中核市)で、10電力会社以外の特定規模電気事業者(PPS)から購入した電力量は、全体の8.3%。自治体別で最も割合が高かったのは宮崎県の52.6%。逆に55自治体は全量を10電力会社から購入していた。」とあります。

## 生活クラブ生協は

2012年3月から一部施設の電力供給会社を東京電力からサミットエナジー株式会社に変更します。

## いんぷおめーしょん ・茶ティ☆タイム

日時 2/17(金)10時~12時  
場所 くらぶメゾン 鶴ヶ島  
(鶴ヶ島市富士見2-12-15)

- ・12月議会報告
- ・3月議会に向けて、他

